



巨匠ゼツダが精緻なアンサンブルの妙を紡いだ当団41年ぶりの上演

モーツァルト「フィガロの結婚」2012年3月3日・4日 東京文化会館



21年ぶりの「夢遊病の女」と、ヴェルディ生誕200年記念「仮面舞踏会」

藤原歌劇団公演監督 岡山廣幸

歳とともに時間が加速度を増して過ぎていくような気がするこのごろですが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。さて、財団法人日本オペラ振興会は平成24年4月1日付けで内閣総理大臣より公益財団法人移行認定を受け「公益財団法人日本オペラ振興会」として新たにスタートいたしました。これからも公益財団法人として、芸術性の高い高品質な舞台をめざしてまいります。

藤原歌劇団は3月にモーツァルトの名作「フィガロの結婚」を上演いたしました。指揮アルベルト・ゼツダ、演出マルコ・ガンディーニ、出演者は全キャスト日本人。指揮者・演出家の力によるところが大きいのはもちろんですが、日本人の歌手だけで、あれだけレベルの高い舞台ができ

たことは自負できると思います。

さて今年度は、9月にベッリーニの「夢遊病の女」を21年ぶりに上演いたします。数あるベルカント・オペラの中で上演される機会が稀な演目ですが、ベッリーニならではの美しい旋律に満ちた音楽は聴くものを魅了いたします。タイトルロールには共にベルカント・オペラのエキスパート、高橋薫子と光岡暁恵が歌います。年が明けて2013年はヴェルディ生誕200年に当たります。2月10日と11日にヴェルディ中期最大傑作の一つ「仮面舞踏会」を予定しています。メインキャストに村上敏明・笛田博昭・堀内康雄・牧野正人・野田ヒロ子・廣田美穂を配し、藤原歌劇団ならではの舞台を堪能できるものと確信しております。どうぞご期待ください。



園田隆一郎



岩田達宗



高橋薫子



光岡暁恵



小山陽二郎



中井亮一



妻屋秀和



D. ビシュニャ

[2012年9月] 藤原歌劇団公演

ベッリーニ 夢遊病の女

[2012年10月] 藤原歌劇団

五十嵐喜芳追悼コンサート



林康子



G. サッパティエーリ

[2013年2月] 藤原歌劇団公演

ヴェルディ 仮面舞踏会

ニュープロダクション

藤原歌劇団ならではの究極のベルカント！
流麗な旋律美を誇るベッリーニの傑作

2012年 **9/8(土)・9(日)15:00** 開演

新国立劇場オペラパレス (京王新線初台駅)

両日とも午後2時15分から20分程度、会場客席にて作品解説をいたします。開場は午後2時です。

特別席¥16,000 A席¥13,000 B席¥10,000

C席¥8,000 D席¥5,000 E席 **売切れ**

※ご購入に際しては、次のことを予めご了承ください。

出演者は変更することがあります。お問い合わせいただいた入場券の払い戻し、変更は出来ません。

主催／公益財団法人日本オペラ振興会

協力／公益財団法人新国立劇場運営財団

助成／公益財団法人 花王 芸術・科学財団

公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

指揮 **園田隆一郎** 演出 **岩田達宗**

	9/8	9/9
アミーナ	高橋薫子	光岡暁恵
エルヴィーノ	小山陽二郎	中井亮一
ロドルフォ伯爵	妻屋秀和	デニス・ビシュニャ
テレザ	森山京子	牧野真由美
リーザ	関 真理子	納富景子
アレッシオ	和下田大典	前田進一郎
公証人	藤原海考	

合唱 **藤原歌劇団合唱部**
管弦楽 **東京フィルハーモニー交響楽団**

美術：川口直次 衣裳：半田悦子 照明：大島祐夫 舞台監督：村田健輔
合唱指揮：須藤桂司 副指揮：飯坂 純・仲田淳也 演出助手：喜田健司

ベッリーニの描いた幻想のスイス

岩田達宗 (演出)

19世紀オペラ黄金時代において、スイスを舞台にして物語が展開する作品は現在に至るまで数多く残されて居る。ロッシーニの「ウィリアム・テル」、ドニゼッティの「連隊の娘」、ヴェルディの「ルイザ・ミラー」…。そして、今回のベッリーニの「夢遊病の女」。グランドオペラあり、セリアもあり、喜劇もあり、様々なジャンルの曲が含まれるこれらの作品群は、包括して、何か言わば「スイスもの」とでも呼んで一括りにしたくなる程、共通の、何か独特の空気感を持っている。

明るい太陽のもと、文明から離れ、自然と近い処で生きる素朴で健康な人々。そして、その明るく健康な表面の裏側に生まれる、強烈な闇や影。暗く不気味な迷信や伝説。そして、密かに進行している病や狂気。これは実際のスイスと言う国柄、風土の持つ独自性だけでは片付けられない何かを孕んでいる気がする。つまり、イタリアやフランスの舞台人にとっては、ある種の音楽に最適の舞台装置である、新たに創造されたスイス、と言う架空の場所があるような気がするのだ。例えば、スペインに足を踏み入れた事すらないビゼーが「カルメン」で描いたセヴィリア。ドニゼッティが全く想像力だけで描いた「愛の妙薬」のバスク地方、など、芸術家が空想の中で創造する土地が現実の土地以上に強い磁力と霊気を生む事がある。そして、そう言った舞台設定でなければ実現しない、豊穡な音楽と、生きた声、生きた言葉、と言うものが、そこにはある。「夢遊病の女」はまさにその見本であり、独特の豊穡の声と言葉と音楽が溢れ続ける噴水だ。

どうか、お客様にはその溢れでる噴水のシャワーを、全身で幸福に浴びて頂きたい。また今回は名匠川口直次氏による傑作の美術の力を得ました。どうぞご期待下さい。

登場人物

アミーナ (ソプラノ)	テレザの養女。美しく純真な心の娘。精神的にナイーブなために夢遊病を患う。ソプラノ・レジーエーロの役。
エルヴィーノ (テノール)	アミーナと婚約中のお金持ちの若い地主。
ロドルフォ伯爵 (バス)	長い旅から戻ってきた先代の領主の息子。
テレザ (メゾ・ソプラノ)	水車小屋の女主人。
リーザ (ソプラノ)	エルヴィーノに気のある旅籠の女将。
アレッシオ (バリトン)	リーザに惚れている農夫。
公証人 (テノール)	

あらすじ

舞台はスイスの山村。水車小屋の娘アミーナと若い地主エルヴィーノの婚約を村人たちは祝っているが、エルヴィーノに気のある旅籠の女将リーザは浮かぬ顔でいる。アミーナはエルヴィーノから指輪を貰い、翌日教会で式を挙げることになる。馬車から立派な身なりの紳士が降り立ち、アミーナの美しさを讃える。嫉妬を覚えるエルヴィーノ。村に幽霊が出るという噂を聞き、紳士はリーザの旅籠に泊まることにする。紳士は実は亡くなった村の領主の一人息子で行方知れずのロドルフォ伯爵なのだが、その身分を隠している。正体を見破ったリーザが伯爵の部屋を訪れているときに、ペランダから亡霊のようなアミーナが入ってくる。リーザは素早く立ち去り伯爵も部屋から出て行く。領主の子息と知った村人たちが挨拶に伯爵の部屋を訪れると伯爵は居らず、そこに寝ているアミーナを発見し大騒ぎとなる。誤解したエルヴィーノは婚約破棄を叫び、アミーナは悲嘆にくれる。伯爵は彼女は夢遊病なのだと言明するがエルヴィーノは信じない。折りしもアミーナが現れ、夢遊病状態で水車の上の危険な渡り板を歩きはじめ。彼女の身の潔白を信じたエルヴィーノは再び彼女の手に指輪を返し、夢から覚めたアミーナは喜びに包まれ幕となる。

新演出
上演

2013年ヴェルディ・イヤーにおける
ヴェルディ中期を代表する傑作！
許されぬ愛が招く忠誠と憎しみの葛藤

2013年 **2/10(日)・11(月・祝)15:00** 開演

東京文化会館 (JR上野駅公園口直前)

詳細は後日発表

主催／公益財団法人日本オペラ振興会

指揮 **柴田真都** 演出 **栗國 淳**

	2/10	2/11
リッカルド	村上敏明	笛田博昭
アメリア	野田ヒロ子	廣田美穂
レナート	堀内康雄	牧野正人
ウルリカ	森山京子	牧野真由美
オスカル	大森智子	オクサーナ・ステパニユック

合唱 **藤原歌劇団合唱部**
管弦楽 **東京フィルハーモニー交響楽団** ほか

藤原歌劇団 五十嵐喜芳追悼コンサート

オペラの名アリアと重唱 & イタリア歌曲、日本の歌

ソプラノ 林 康子 / 砂川涼子
 テノール 五郎部俊朗 / 村上敏明 / 笛田博昭
 バリトン 堀内康雄 / 牧野正人
 合唱指揮 及川 貢
 合唱 藤原歌劇団合唱部
 ピアノ 浅野菜生子、中村 均
 特別出演 ジュゼッペ・サツパティエーニ (テノール)
 古藤田みゆき (ピアノ)

2012年 **10/8**(月・祝) **14:00** 開演(開場13:30)
日経ホール(地下鉄大手町駅下車、日経ビル3階)

完売御礼 おかげさまで、全席完売いたしました。

主催/公益財団法人日本オペラ振興会
 後援/日経ホール

【第1部】

レオンカヴァッロ〈道化師〉より「ごめんください、皆さま方」 牧野正人
 ボンキエリ〈ラ・ジョコンダ〉より「空と海」 笛田博昭
 プッチーニ〈トゥランドット〉より「氷のような姫君」 砂川涼子
 ヴェルディ〈ドン・カルロ〉より 二重唱「我らの胸に友情を」 堀内康雄 & 笛田博昭
 日本の歌「この道」(山田耕筰)、「涙そうそう」(BEGIN) 五郎部俊朗

【第2部】

ヴェルディ〈アイダ〉より「凱旋の合唱」 合唱
 ベッリーニ〈ノルマ〉より「彼女と共にヴィーナスの祭壇へ」 村上敏明
 「浄き女神」 林 康子 & 合唱
 ヴェルディ
 〈ラ・トラヴィアータ〉より「プロヴァンスの海と陸」 堀内康雄
 〈シモン・ボッカネグラ〉より 二重唱「どうしてひとり離れて」 牧野正人 & 砂川涼子
 〈ラ・トラヴィアータ〉より「乾杯の歌」 林 康子 & 村上敏明、合唱
 イタリア歌曲(曲目未定) ジュゼッペ・サツパティエーニ

予定演奏
プログラム

日本オペラ協会 日本オペラシリーズNo.74

泉鏡花原作シリーズ第2弾、日本オペラの名作レパートリー

水野修孝作曲 **天守物語** オペラ2幕 **新制作**

指揮:山下一史 演出:岩田達宗

詳細は後日発表

2013年 **2/2**(土)・**3**(日) **新国立劇場中劇場**

日本オペラ振興会フレッシュコンサート2012

出演予定

[ソプラノ] 上木由里江、柏川 翠、坂本友香、田中千晶、伊達みずき、
 中ノ森怜佳、中村芽吹、成田 瞳、橋本佳代子、松山美帆、宮川佳子、
 目黒恵理子、望月成美、八木下 薫、安田真己子、薮田瑞穂、山口安紀子、
 李 千恵 [メゾ・ソプラノ] 鴻巣典子 [テノール] 小笠原一規
 [バス・バリトン] 安東玄人、細川慶郎

ピアノ:浅野菜生子、藤原藍子

2012年 **11/18**(日) **イイノホール**(虎ノ門) 全自由席¥3,000

募集中! JOFアミーチ・デル・テアトロ・リリコ

公益財団法人日本オペラ振興会 鑑賞会員

日本オペラ振興会が主催するすべてのオペラ公演とコンサートが鑑賞でき、しかも
 さまざまな特典もある大変お得な日本オペラ振興会の年間鑑賞会員(JOFアミー
 チ会員)を募集しています。入会は随時可能で、会員資格の有効期間は1年間です。

年会費:特別会員 1口=10万円 A会員 1口=7万円

【特別会員】日本オペラ振興会が主催する藤原歌劇団および日本オペラ協会のオペ
 ラ公演、コンサートにご招待。(1口につき特別席2枚)

【A会員】日本オペラ振興会が主催する藤原歌劇団および日本オペラ協会のオペ
 ラ公演、コンサートにご招待。(1口につきA席2枚)

【詳細のお問い合わせ】日本オペラ振興会チケットセンター ☎044-959-5067

制作受託オペラ

平成24年度文化庁 次代を担う子どもの文化芸術体験事業

藤原歌劇団

モーツァルト作曲 **オペラ「魔笛」ハイライト**

指揮:須藤桂司 演出:横山由和

出演:ザラストロ 三浦克次 / 東原貞彦
 タミーノ 小山陽二郎 / 所谷直生
 夜の女王 竹田有輝子 / 山崎浩美
 パミーナ 清水理恵 / 伊藤 晴
 パパゲーノ 秋本 健 / 和下田大典 ほか
 藤原歌劇団合唱部

会場:10/16(火) 加茂市立加茂中学校 他(会場は加茂文化会館)
 10/18(木) 高岡市立福岡中学校 10/19(金) 富山市立水橋中部小学校
 10/22(月) 宮津市立日置小学校 10/23(火) 京都市立上星小学校
 10/24(水) 京都市立砂川小学校 10/25(木) 福知山市立大江中学校

につぽん丸オペラ・クルーズ 伊豆諸島周遊

藤原歌劇団

ロッシーニ作曲 **オペラ「セビリヤの理髪師」**

演出:ダリオ・ポニッスィ

出演:アルマヴィーヴァ伯爵 小山陽二郎
 フィガロ 森口賢二
 ロジーナ 川越塔子
 バルトロ 三浦克次 ほか

2013年1月12日(土)~1月14日(月・祝) 横浜発着

問い合わせ **0120-791-211** 商船三井客船クルーズデスク

お知らせ

日本オペラ振興会は
 公益財団法人に移行しました

財団法人日本オペラ振興会は平成24年4月1日付けで内閣総理大臣より公益財団法人移行認定
 を受け「公益財団法人日本オペラ振興会」として新たにスタートいたしました。
 これを機に、ますます音楽芸術文化の新興・発展のため専心努力してまいり所存であります。
 今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人 日本オペラ振興会
 理事長 佐竹康峰

高橋薫子

対談
ふたりのアミーナ

光岡暁恵



9月の藤原歌劇団公演「夢遊病の女」で、主人公アミーナを演じる二人のソプラノ、高橋薫子さんと光岡暁恵さんに、役について、作品についてうかがいました。

これまでの「夢遊病の女」体験は？

高橋 藤原歌劇団が前回上演した1991年の公演は、私はミラノに留学中で観ることができませんでした。イタリアでも、どこそこでデヴィーアがやって可愛かったとか、噂では聞いたものの実演に触れたことはありません。上演の少ない作品ですね。だから「夢遊病」というと、スカラ座のマリア・カラスのCDの、白黒写真のイメージです。ただ、留学中にスパルティートの先生や歌の先生と全編を通して勉強したことはあって、先生から「これはお前の役だよ」と言われました。それを歌うチャンスをもらったのは幸せなことです。

光岡 私は実は10年前、昭和音大の修了公演で歌わせていただいたことがあります。昭和音大はベルカント・オペラを上演する伝統があって、その「夢遊病の女」も再演でした。初演の時はカバーを務めさせていただいたので、先輩方の歌を聴くことも含めてたくさん勉強させていただきました。



光岡暁恵

その時の印象は？

光岡 夢遊病状態で水車小屋にかかった橋を歩く場面で、その橋が思いのほか高くて長くて。私は高所恐怖症気味なので、お稽古の最初の頃は本当に泣きそうでした。

高橋さんは高い所は？

高橋 私は高い所はわりと好きなので(笑)。でも、うっかりするタイプなので、調子に乗って転がり落ちないようにしないとイケませんね(笑)。

その演技をしながら、「狂乱の場」を歌わなければなりません。

高橋 そうですね。一番の聴かせどころです。でも、「ルチア」や「清教徒」はまさに「狂乱」ですが、アミーナは夢遊病なので、あまりそういう感じには思えませんね。乱れてない。

アミーナというのとはどんな役？

高橋 とても純粋な人ですね。理性的な時にきれいごとを並べることができると思います。が、無意識の世界でそれが出てくるのが、自

分がどんなにつらくても、エルヴィーノには幸せでいてほしいというのを、夢遊病の状態の時に言うんですね。あれ **高橋薫子**

がすごいと思います。

一番厳しい状況の時にそういう言葉が出せる美しい人になりたいなあ、と思います。少なくとも役の上だけでも(笑)。



光岡 リーザとかアレッシオとかは、いつもすごく本音をおぶつけているようなところがあるので、人間らしくてわかりやすいのですが、このアミーナはある意味すごく不思議さんで、どうやって捉えていいか、最初は本当にわからなかったです。薫子さんもおっしゃるように、夢遊してからが彼女の本音なので、本当に一途な人なんだと思います。周りのことは何も見えずに、エルヴィーノのことだけをひたすら思っている。アミーナの台詞には、恋人に対する思いがとても多く書かれていて、その一途さをどう表現したらいいのか、悩みでもあります。

光岡さんは作品の舞台になっているスイスで暮らしたこともあるんですね。

光岡 ええ。2007年から09年まで2年間、チューリッヒ歌劇場に研修生として在籍していました。電車で10分も乗ると、まさにこの物語の舞台のような田舎で、夜は真っ暗。本当に幽霊が出そうな雰囲気があります。スイスは他のヨーロッパの国よりも繊細な人が多いので、気の病気になる人も多いんです。

公演に向けての抱負をお願いします。

高橋 この演目を演奏できるのを幸々に思っています。歌自体も難しいし、お芝居も今のところどうなるかまだわかりませんが、できる限りの最善の準備をしようと思っています。ぜひお楽しみいただきたいと思います。

光岡 10年前、何も知らずに真っ白のまま楽譜だけを追って歌っていたものを、もう一度掘り起こす経験を与えられ、しかも藤原の公演で実現させていただくありがたみを感じながら、臨ませていただきます。

仮面舞踏会

栗國 淳

演出家インタビュー

父・故栗國安彦の留学に伴って3歳のときにローマに渡って以来、成人するまで同地で育ち、今も両国で活躍されているイタリアの感性豊かな栗國淳氏。ヴェルディ・イヤーの幕開けに、中期の傑作「仮面舞踏会」の新制作で久々に藤原歌劇団に登場していただきます。

イタリアでお育ちになった演出家の立場から見て、ヴェルディはどんな存在ですか？

ヴェルディはイタリア国家統一というテーマの中で、小学校の授業でも必ず取り上げられるほどイタリア人の心に浸透している人物です。皆さんもご存知のように、彼の「ナブッコ」の中の“Va Pensiero (行け、我が想いよ、黄金の翼に乗って)”は、自由と国家統一という、当時のイタリアの時代背景とあいまって、「イタリア人のイタリア国家」として自主独立のシンボル・ソングとなりました。だからイタリアでは「ナブッコ」の公演でよくこの曲がリピートされるのです。現在日本でもサッカーの応援でヴェルディの「アイダ」が使われますね。あれはイタリアの応援団が歌い始めたのが最初で、その奥底にはこういった背景があるのですね。

ヴェルディの作品では、必ず登場人物が何かしらシンボリックな旗を持って立っていて、そのシンボルを、彼の泥臭い音楽でがんがん攻め上げて行く。そして演出という展開の中で僕自身もがんがん攻め上げられるのが、ヴェルディと対峙する時の堪らない面白さです。プッチーニが音楽で物語を抑揚たっぷりに語り続けていくのとは対照的に、ヴェルディは泥臭い音楽で人物そのものの怒り、悩みをこれでもかと語らせる。そして突如現れる神の啓示のような旋律。そこに、人間の弱さや強さ、果てには愛を感じます。

藤原歌劇団の前回の「仮面舞踏会」は、27年前のお父様(栗國安彦氏)の演出でした。

父がいた藤原歌劇団で同じ作品を演出できるのは大変うれしいことです。しかし現実的に作品を構築する中で父を意識することはありません。僕はイタリアで生活していたので、父の作品の多くを自分の目で見ることはできませんでした。あえて言うなら、演出の準備段階で各シーンのイメージを見つけた時に、ふと、父はこのシーンをどう考えていたのかなと考えたり、また、あるポイントで行き詰まった時に、父も同じところで行き詰まったのだろうかとか、問いかけたい衝動にかられることはあります。

「仮面舞踏会」は5年前に二期会でも演出なさいました。

あまり頻繁に上演される作品ではないので、5年という短いサイクルの中でまた挑戦できるのは大変幸運です。5年前にとらえた表現がさらに膨らむのか、ぼさぼさ捨て去られるのかは今の僕にもわかりません。でも、イタリア物を得意とする藤原の歌手の皆さんに逆に僕が大いに触発され、アイデアが膨らんで行くと思うと最高に興奮します。

この作品は、よく三角関係という単純な捉え方をされています。けれど僕はその奥底に、もっと複雑で入り組んだ別のテーマがあるように考えています。相反する感情や、相対する状況に苦悩する登場人物たちの心を読み取り、しっかり表現したいと思います。

最初は指揮を学ばれていました。演出家を志したきっかけは？

父が亡くなったあと、本当に音楽をやりたいのかどうか、自分の気持ちが変わらなくなり、数年間音楽から遠ざかってしまった時期があり



ました。音楽という行為が、父との絆の中で大きい要素だったのだと思います。自分の人生を見つめ直してリセットするために、その音楽という行為を消したような形になりました。

ある日、劇場でゼッフィレリの作品を見た時、何か新たな気持ちやがどどん湧いて来て、やっぱり音楽で生きて行こうと思いました。そしてその中でもオペラ、それもなぜか「演出」という2文字が強く出てきたのです。

これまで演出した作品と、その中で一番印象に残っている演目は？

これまでにヴェルディの「エルナーニ」「アイダ」「ファルスタッフ」、プッチーニの「ラ・ボエーム」「パタフライ」「トゥーランドット」「三部作」「妖精ヴィトリ」、他に「イル・カンピエッロ」「ホフマン物語」「アンドレア・シェニエ」「トリスタンとイゾルデ」「セビリヤの理髪師」「オランダ」「コジ・ファン・トゥッテ」「ドン・ジョヴァンニ」「カルメン」「おさん」「パン屋大襲撃」などを演出しました。

どの作品にも深い思いがあり、強い印象として残っていますが、あえて挙げるならば、演出家としてのデビュー作だった1997年の藤原の文化庁公演「愛の妙薬」には格別な思いと意味があると思います。演出家としての船出は毎日が荒海でした。けれど、スムーズにハンドルの回らない舵を、それまでに使ったことのない、あらん限りの力を使って握り、荒波に対して右に左に操舵した快感は今でも忘れることができません。そしてその快感が、今後も演出家でありたい!と思わせてくれた作品だからです。

現在、イタリアと日本での仕事の割合は？

年によって違いますが、昨前半は主に日本で、後半は海外でした。

イタリアと比べた時、日本のオペラを取り巻く環境をどう感じていますか？

やはりまず「文化の違い」を感じますね。イタリアではどんな街にも必ず劇場があり、オペラは社会的にも認められています。劇場のシーズン・オープニングは必ずTVのニュースになり、新聞にも取り上げられます。オペラ劇場へ行くことが、実に広く生活に影響を与えているのです。日本ではよく「オペラ・ファン」と、粋をつけた表現を耳にしますが、イタリアであまりそういう言葉を聞かないのは、このような社会背景があるからでしょう。

音楽教育の環境も違います。日本では、音楽大学などにとてもたくさんの生徒がいて実に驚かされます。オペラの本拠地イタリアですから、さぞかし多くの教育機関が存在していると思われるかもしれませんが、実際はそうではありません。そしてその数少ないコンセルヴァトワールでは、プロになるとはどういうことかを徹底的に教えられます。指導者が、プロになるための技術とメンタルが生徒にないと判断すれば、はっきりと告げられ、途中で方向転換する人もたくさんいます。一方でその力を持つ生徒には、技術と精神の形成に対し、厳しくまた惜しみない指導が施され、生き残った生徒たちは懸命に技術を磨き、世界へ出て行くチャンスを得ようと必死です。就職難というイタリアの問題も関係していると思いますが、将来プロの音楽家として職を得、成功するかどうかはまさに死活問題です。

また、日本には各地に市民オペラ活動が根付き、クラシック音楽愛好家が大勢いらっしゃるの、日本の音楽教育の賜物だと思います。イタリアにはそういう活動はないに等しいです。

ファンの皆さんにメッセージを。

藤原歌劇団にとっても久しぶりに熱いヴェルディ作品の登場です。藤原のイタリアン・カラー! ヴェルディの音楽! イタリア魂溢れる歌手たち! 材料はすべて揃っています。ぜひお楽しみに!!

村上敏明



リカルド

この度は、2006年の首都オペラでの出演以来となるリカルド役で、素晴らしいキャスト・スタッフの皆さんと共演させて頂ける事を、本当に楽しみにしています。リカルドは、ヴェルディが与えた3つのアリア、アメリカとの二重唱、歌唱技術、役柄の深さ、どれをとってもテノール・リリコにとって究極の役です。生誕200周年を迎えるヴェルディ・イヤーの幕開けにふさわしい公演となる様、万全の準備で臨みますので、どうぞご期待下さい。

笹田博昭



リカルド

今回は藤原歌劇団公演で「仮面舞踏会」という初演目に挑戦させて頂ける事に感謝するとともに、同年代の指揮者との共演を楽しみにしております。今、文化庁新進芸術家海外研修員としてミラノで勉強中なのですが、先日イタリアのフェッラーラ歌劇場「イル・トロヴァトーレ」のマンリーコ役で舞台に立つことができました。イタリア留学で感じた事や学んだ事を「仮面舞踏会」でお伝えすることができたら幸いです。出演を重ねるごとに成長した姿をお見せできるよう、頑張つて稽古に励みますので皆様どうぞ足をお運びください。

野田ヒロ子



アメリア

物語の内容や音楽に明暗があり、盛りだくさんのアリアの華やかな舞台。とてもヴェルディらしい作品の「仮面舞踏会」をヴェルディ・イヤーに歌わせていただけて本当に幸せです。人妻でありながら、夫の上司に想いを寄せるという複雑な女性の心をどう歌うのか。これまで演じたことのない大人の役ですが、「あの草を摘みとって」「私の最後の願い」の大切な二曲のアリアと共にアメリア像が膨らみます。

廣田美穂



アメリア

アメリアは私が初めてプリマドンナとして舞台にのった役です。私の敬愛するヴェルディの生誕200周年という年に、藤原歌劇団の公演で歌えるのはとても光栄であり、嬉しく、また身の引き締まる思いです。留学していたローマで初めて勉強して10年(この作品の初演がローマ、これも縁?)、少しずつ熟成してきたと感じて頂けるよう頑張ります。アンサンブルも多く、ヴェルディらしさの溢れる大好きな「仮面舞踏会」をどうぞお楽しみに!!

堀内康雄



レナート

レナートは、1999年と2001年新国立劇場のプロダクションに出演しました。故アルベルト・ファッシーニ氏の格調高い演出、ワクワクする様な舞台と衣装でのデビューでした。総督の身を楽しめる秘書から、反逆団の刺客へと変貌する非常に緊張感の要求される役です。正攻法演出で歌手に生命を吹き込んで下さる粟國淳氏の舞台で、レナートに再チャレンジ出来ることを大変に嬉しく思います。ベルカントで歌い切れる事を今から意識しています。

牧野正人



レナート

これまで色々な役を歌ってきました。バリトンなので二枚目はなく、多くは分別や常識をかざすオヤジ役ですが、今回演じるレナートは聡明で生真面目な男。しかし彼の人生は狂い、忠実な家来は主君の胸に刃を突き立ててしまいます。彼を狂わせたもの、それは妻への「愛」、深い「愛」故の激しい嫉妬。幅広い声域と多彩な音色を駆使しての深い感情表現はヴェルディ・バリトンの真骨頂です。充実の声と円熟の舞台表現をお見せしたいと思います。

2012年度 新規入団員

藤原歌劇団 正団員

オーディション
による

*=準団員より



伊達みづき(S)*



松山美帆(S)*



望月成美(S)



藪田瑞穂(S)*



山口安紀子(S)



李千恵(S)



安東玄人(Bs/Br)*

藤原歌劇団 準団員

育成部より



幾瀬敦子(S)



一條真紗子(S)



金淑珍(S)



清原久理恵(S)



楠野麻衣(S)



齋藤澄佳(S)



鈴木絵理(S)



平岩はるな(S)



宮澤優子(S)



室井葉子(S)



山本彩恵子(S)



劉順香(S)



和田奈生子(S)



大西貴浩(T)



大塚雄太(Br)



河村洋平(Br)



藤澤龍弥(Br)

藤原歌劇団 準団員

オーディション
による



上木由里江(S)



柏川翠(S)



坂本友香(S)



田中千晶(S)



中ノ森怜佳(S)



中村芽吹(S)



成田 瞳(S)



橋本佳代子(S)



宮川佳子(S)



目黒恵理子(S)



八木下 薫(S)



安田真己子(S)



鴻巣典子(MS)



小笠原一規(T)



細川慶郎(Br)

コンクール受賞情報

■曾我雄一(テノール) 藤原歌劇団準団員

2011年第47回日伊声楽コンクール第2位

■枝松 瞳(ソプラノ) 藤原歌劇団準団員

2011年第18回日本歌曲コンクール声楽部門第1位

■オクサーナ・ステパニウク(ソプラノ) 藤原歌劇団団員

2011年第5回横浜国際音楽コンクール声楽部門一般の部第1位

■百々あずさ(ソプラノ) 藤原歌劇団団員

2012年マスカーニ・コンクール(イタリア、リヴォルノで開催)

最優秀ソプラノ賞(Premio Gemma Bellincioni)ならびに第3位

■但馬由香(メゾ・ソプラノ) 藤原歌劇団準団員

2012年第31回飯塚新人音楽コンクール声楽部門第1位

リサイタル・マネジメント

田中純子ソプラノ・リサイタル

2012年10月18日(木) 会場:王子ホール

鎌田滋子ソプラノ・リサイタル

2012年11月18日(日) 会場:津田ホール

平成25年度 オペラ歌手育成部 [研究生] 募集

本格的なオペラ歌手を育成します。

オペラ専門コース(クラス構成詳細未定) / オペラマスターコース

●願書受付期間

[第一次募集] 平成24年12月1日(土)~平成25年2月14日(木)

[第二次募集] 平成25年2月26日(火)~平成25年3月14日(木)

●選抜試験日

[第一次募集] 平成25年2月17日(日)

[第二次募集] 平成25年3月20日(水・祝)

※両日とも、午前:歌唱試験/午後:面接試験

受験資格・試験科目等詳細は下記へお問合せ下さい。

募集要項および志願書は電話またはファックスにてご請求いただければ郵送します。

(平成25年度版募集要項は9月中旬に完成予定)

【お問合せ】(午前10時~午後6時)

公益財団法人日本オペラ振興会オペラ歌手育成部

〒215-0004

神奈川県川崎市麻生区万福寺 1-16-6 昭和音楽大学北校舎内

☎044-969-7197 Fax 044-953-8693

[2012年]

■ 7月1日(日)
~歌は美しかった2012~
五郎部俊郎テノール・リサイタル
出演●五郎部俊郎
会場●東京文化会館小ホール

■ 7月5日(木)
ベネズエラ独立記念日祝賀コンサート
出演●鳥木弥生
会場●第一生命ホール

■ 7月6日(金)
堀内康雄バリトン・リサイタル
出演●堀内康雄
会場●びわ湖ホール小ホール

■ 7月8日(日)
明治大学マンドリンクラブ
第15回定期演奏会
出演●五郎部俊郎
会場●茅ヶ崎市民文化会館大ホール

■ 7月10日(火)
シアターオーブ開業記念式典
出演●高橋薫子
会場●東急シアターオーブ

■ 7月12(木)・13日(金)・14日(土)・
17日(火)・18日(水)・19日(木)
平成24年度新国立劇場 高校生のための
オペラ鑑賞教室「ラ・ボエーム」
出演●廣田美穂・村上敏明・森口賢二・
久保田真澄
会場●新国立劇場オペラバレス

■ 7月27日(金)・29日(日)
8月3日(金)・5日(日)
新国立劇場 日中国交正常化40周年記念
2012「日中国民交流友好年」認定行事
オペラ「アイダ」(コンサート形式)
出演●妻屋秀和
会場●新国立劇場オペラバレス
国家大劇院(中国・北京市)

■ 8月12日(日)
中鉢聡テノール・リサイタル
出演●中鉢聡
会場●藝科みずならホール

■ 8月19日(日)
奥州市文化会館開館20周年記念事業
オペラ「楳姫」
出演●野田ヒロ子・折江忠道・斎藤佳奈子・
於保郁人・東原真彦・柿沼伸美・
清水良一・吉田郁恵
会場●奥州市文化会館

■ 8月22日(水)・23日(木)・24日(金)・
25日(土)・26日(日)
K-BALLET COMPANY
「真夏の夜の夢」
出演●藤原歌劇団合唱部
会場●Bunkamuraオーチャードホール

■ 9月5日(水)
江副財団40周年記念コンサート
出演●砂川涼子・山口佳子・河野めぐみ・
下原千恵子・谷友博・久保田真澄
会場●サントリーホール大ホール

■ 9月16日(日)
静岡交響楽団定期演奏会
出演●川越塔子・中鉢聡
会場●静岡市清水文化会館マリナート大
ホール

■ 9月17日(月・祝)
愛知県文化振興事業団プロデュースオペラ
「ランメルモールのルチア」
出演●佐藤美枝子・村上敏明・堀内康雄
会場●愛知県芸術劇場大ホール

■ 9月19日(水)
五島記念文化財団留学成果発表会
「カヴァレリア・ルスティカーナ」
出演●牧野真由美
会場●大和田さくらホール

■ 9月20日(木)
トワイライト・コンサート
プレミアム・クラシック
出演●中鉢聡
会場●大阪・宝くじドリーム館

■ 9月21日(金)・28日(金)
八王子市立小宮小学校アウトリーチ企画
出演●小林厚子・村上敏明
会場●八王子市立小宮小学校

■ 9月24日(月)
九州交響楽団第319回定期演奏会
「オラトリオ(合唱音楽)の世界V」
出演●谷友博
会場●アクロス福岡シンフォニーホール

■ 9月26日(水)~29日(土)
平成24年度公共ホール音楽活性化事業
アウトリーチ・コンサート
出演●中鉢聡
会場●八郎潟町内4ヶ所、八郎潟町農村
環境改善センター

■ 10月3日(水)・4日(木)
Music Weeks in TOKYO 2012
スーパー・コーラス・トーキョー特別公演
出演●堀内康雄
会場●東京文化会館
オリンパスホール八王子

■ 10月10日(水)・11日(木)
えずこキャラバン
出演●大森智子
会場●宮城県仙南地域

■ 10月13日(土)
親子で楽しむファミリーオペラ
「あまんじゃくとうりこひめ」[かっぱたん]
出演●押川浩士
会場●東京オペラシティコンサートホール

■ 10月17日(水)~19日(金)
アウトリーチ
出演●大森智子
会場●尾道市内6ヶ所

■ 10月18日(木)
Cedyna Special オペラ・ガラコンサート
出演●堀内康雄
会場●大阪いずみホール

■ 10月21日(日)・11月3日(土)
東京文化会館オペラBOX
「ヘンゼルとグレーテル」
出演●森山京子・押川浩士
会場●東京文化会館小ホール
文京シビック小ホール

■ 11月3日(土)
「ありがとうタープ」
渡辺満里奈の絵本読み聞かせと
子供のためのクラシックコンサート
出演●大森智子
会場●日本特殊陶業市民会館ビレッジホール

■ 11月11日(日)・14日(水)・
17日(土)・20日(火)・23日(金)・祝
新国立劇場オペラ「トスカ」
出演●松浦健・谷友博
会場●新国立劇場オペラバレス

■ 11月21日(水)
アウトリーチ
出演●大森智子
会場●舞鶴市内2ヶ所

■ 11月23日(金・祝)
親子で楽しむクラシックコンサート
出演●大森智子
会場●舞鶴市総合文化会館

■ 11月23日(金・祝)・24日(土)
日生劇場開場50周年記念公演
オペラ「フィガロの結婚」
出演●森口賢二・折河宏治
会場●日生劇場

■ 11月24日(土)・25日(日)
西本智実プロデュース
オペラ「蝶々夫人」
出演●小林厚子・上本訓久・村上敏明・
折江忠之・須藤慎吾・党主税・
藤原歌劇団合唱部
会場●オリンパスホール八王子

■ 11月25日(日)
第九合唱団
「第九演奏会2012」
出演●谷友博
会場●クレアこうのす

■ 11月28日(水)・12月1日(土)・
4日(火)・6日(木)・9日(日)
新国立劇場オペラ「セビリアの理髪師」
出演●妻屋秀和
会場●新国立劇場オペラバレス

■ 11月29日(木)
浜離宮ランチタイムコンサート
出演●中鉢聡
会場●浜離宮朝日ホール

■ 11月30日(金)・12月2日(日)
沼尻竜典オペラセレクション
歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」
出演●高橋薫子・堀内康雄
会場●びわ湖ホール大ホール

■ 12月2日(日)
坂戸第九を歌う会 第26回定期演奏会
交響曲第九番「合唱付」
出演●若林勉
会場●坂戸市文化会館 ふれあ

■ 12月14日(金)
びっくりすますコンサート
出演●大森智子
会場●北九州市立響ホール

■ 12月15日(土)・23日(日)
神奈川フィルハーモニー管弦楽団
第九特別演奏会
出演●高橋薫子・鳥木弥生・中鉢聡・
堀内康雄
会場●小田原市民会館、神奈川県民ホール

■ 12月16日(日)
ミュージアム川崎シンフォニーホール&
東京交響楽団 名曲全集第83回
出演●須藤慎吾
会場●川崎市教育文化会館

■ 12月27日(木)
〈都民参加コンサート〉
ベートーヴェン「歓喜の歌」
出演●須藤慎吾
会場●東京芸術劇場大ホール

■ 12月27日(木)
山形交響楽団「第九」
出演●鳥木弥生
会場●山形テルサホール

■ 12月31日(月)
りゅーとびあ15周年記念
にいがたジルヴェスター・コンサート2012
出演●高橋薫子・三浦克次
会場●りゅーとびあ新潟市民芸術文化会
館コンサートホール

■ 12月31日(月)
ジルベスターコンサート2012
出演●廣田美穂・吉田郁恵・小山陽二郎・
牧野正人
会場●テアトロ・ジューリオ・ショウワ

[2013年]

■ 1月12日(土)
MIKIMOTO 日本赤十字社
第46回献血チャリティー・コンサート
New Year Concert
出演●中鉢聡
会場●サントリーホール大ホール

■ 1月13日(日)
第17回日立シビックセンター
ニューイヤーオペラコンサート
出演●谷友博
会場●日立シビックセンター音楽ホール

■ 1月17日(木)
東京フィルハーモニー交響楽団
第75回東京オペラシティ定期シリーズ
出演●堀内康雄
会場●東京オペラシティコンサートホール

■ 1月18日(木)
東京フィルハーモニー交響楽団
第826回サントリー定期シリーズ
出演●堀内康雄
会場●サントリーホール大ホール

■ 1月20日(日)
南大沢ニューイヤーコンサート2013
出演●竹田有輝子・村上敏明・森口賢二

会場●南大沢文化会館

■ 1月27日(日)
ふくやまコースフェスティバル2012
出演●大森智子・上本訓久
会場●リーデンローズ大ホール

■ 2月21日(木)~24日(日)
平成24年度
公共ホール音楽活性化支援事業
出演●村上敏明
会場●岡山県勝央町内

■ 2月23日(土)
東京フィルハーモニー交響楽団
創立100周年記念特別演奏会「グレの歌」
出演●妻屋秀和
会場●Bunkamuraオーチャードホール

■ 3月3日(日)
Concert for KIDS
~3才からのクラシック~
出演●大森智子
会場●しまなみ交流館

■ 3月9日(土)
ハートフルコメディオペラ「君と見る夢」
出演●所谷直生
会場●東京芸術劇場プレイハウス(中ホール)

■ 3月9日(土)・10日(日)・23日(土)・
24日(日)
びわ湖ホール・神奈川県民ホール・
東京二期会 共同制作公演 歌劇「楳姫」
出演●砂川涼子
会場●びわ湖ホール、神奈川県民ホール

■ 3月10日(日)
第4回県民オペラ「夕鶴」
出演●光岡暁恵
会場●アクトシティ浜松大ホール

■ 3月11日(月)・14日(木)・17日(日)・
20日(水・祝)・24日(日)・27日(水)・
30日(土)
新国立劇場オペラ「アイダ」
出演●堀内康雄・妻屋秀和
会場●新国立劇場オペラバレス

■ 4月14日(日)
日本モーツァルト協会 第548回例会
ダ・ボンテと起こした奇跡
出演●伊藤晴・森口賢二
会場●東京文化会館小ホール

■ 4月14日(日)・17日(水)・19日(金)・
21日(日)
新国立劇場オペラ「魔笛」
出演●砂川涼子
会場●新国立劇場オペラバレス

■ 4月21日(日)
日本演奏連盟第24回クラシック
フェスティバル「第九」
出演●藤原歌劇団合唱部
会場●東京文化会館大ホール

■ 5月11日(土)
早稲田大学マンドリン楽団
創立100周年記念第190回定期演奏会
出演●大貫裕子・森山京子・村上敏明・
森口賢二・藤原歌劇団合唱部
会場●東京文化会館大ホール

■ 6月22日(土)
いずみホールオペラ2013
「シモン・ボッカネグラ」
出演●堀内康雄
会場●大阪いずみホール

■ 6月24日(月)
ISPR2013 イブニングコンサート
出演●中鉢聡
会場●秋田アトリオン音楽ホール

■ 6月25日(火)・26日(水)・28日(金)・
29日(土)・30日(日)
新国立劇場オペラ「夜叉ヶ池」
出演●岡崎他加子・砂川涼子・
森山京子・折江忠道・妻屋秀和
会場●新国立劇場中劇場

公演レビュー

藤原歌劇団公演 **ニュープロダクション**

ロッシーニ「セビリヤの理髪師」

2011年9月9日・11日 新国立劇場オペラバレス

指揮：アルベルト・ゼツダ 演出：松本重孝

出演：アントニーノ・シラゲーザ、高橋薫子／鳥木弥生
谷友博／森口賢二、三浦克次／久保田真澄
彭康亮／デニス・ビシュニヤ、牧野真由美／宮本彩音
押川浩士／折河宏治、羽濑浩樹、小田桐貴樹

藤原歌劇団合唱部 東京フィルハーモニー交響楽団

ロッシーニの権威ゼツダのもと新校訂版を用い、シラゲーザを主演にロジーナ役をソプラノとメゾ・ソプラノの2バージョンで取り上げ、あらためて作品の真価を示しました。



藤原歌劇団公演 **ニュープロダクション**

モーツァルト「フィガロの結婚」

2012年3月3日・4日 東京文化会館

指揮：アルベルト・ゼツダ 演出：マルコ・ガンディーニ

出演：須藤慎吾／谷友博、砂川涼子／清水知子
久保田真澄／上田誠司、川越塔子／納富景子
向野由美子／松浦麗、牧野真由美／二渡加津子
三浦克次／田中大揮、小山陽二郎／小宮一浩
青柳明／岡坂弘毅、小田切一恵／時田早弥香
坂本伸司／清水良一
種田尚子・山邊聖美／中川悠子・丸尾有香

藤原歌劇団合唱部 東京フィルハーモニー交響楽団

41年ぶりの名作上演は、巨匠のタクトが紡ぎ出す芳醇な音楽とイタリアのセンスが光る様式美のある舞台が融合し、アンサンブルを大事にしたバランスのある演奏となりました。



平成23年度 文化庁優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業（共同制作公演）
共同制作東京公演 日本オペラ協会

池辺晋一郎「高野聖」 **新作初演**

2012年1月21日・22日 新国立劇場中劇場

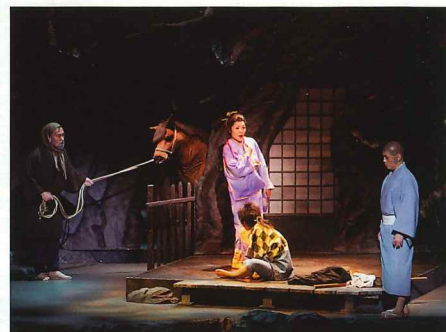
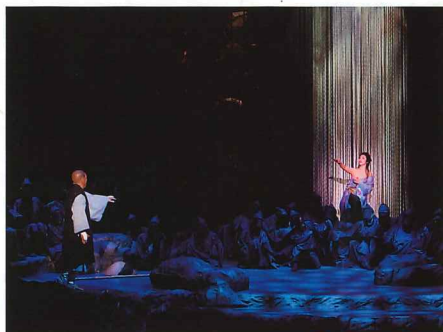
指揮：大勝秀也 演出：小田健也

出演：大間知覚／中鉢聡、沢崎恵美／川越塔子
井上白葉／豊島雄一、和下田大典／清水良一
田中美佳／吉田早苗、藤原海考／鳴海優一
設楽香菜子、東原貞彦／鴨川太郎

日本オペラ協会合唱団 オーケストラ・アンサンブル金沢

金沢公演／2011年12月9日 金沢歌劇座
高岡公演／2011年12月12日 高岡市民会館

巧みな作曲技法を駆使した音色豊かな旋律と、鏡花の原作の本質を汲み上げた精緻な脚本により見事な新作オペラが誕生し、金沢・高岡・東京各地で大きな話題となりました。



平成23年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業
文化庁委託事業 人材育成オペラ公演

モーツァルト「魔笛」 2011年11月19日・20日 テアトロ・ジューリオ・ショウワ

指揮：星出豊 演出：横山由和

出演：狩野賢一／東原貞彦、志摩大喜／藤原海考、生沼美香／乾ひろこ
坂井田真実子／大音絵莉、古澤利人／大石洋史、西山友里恵／枝松瞳
田中大揮、長谷川雅俊、澤崎一了、池田哲 ほか

藤原歌劇団合唱部 テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ



「こうもり」GP終了後の出演者集合記念写真



ジ・インペリアル オペラ 2012年4月30日 帝国ホテル富士の間 藤原歌劇団「こうもり」(J. シュトラウスII)

指揮：星出豊 演出：馬場紀雄

出演：田代誠、野田ヒロ子、折江忠道、森山京子、中鉢聡、須藤慎吾、山口佳子、
秋本健、田代万里生、岡山廣幸 藤原歌劇団合唱部 ジ・インペリアルオペラオーケストラ

藤原歌劇団は2007年から毎年、GWの4月末に、帝国ホテル主催により同ホテル富士の間で、オペラ&ディナーを楽しむ「ジ・インペリアル オペラ」を公演しています。これまで「フィガロの結婚」「セビリヤの理髪師」「ラ・チェネレントラ」「蝶々夫人」「ラ・トラヴィアータ」を公演し、6回目となった本年は初めてオペレッタを取り上げました。楽しいオペレッタ上演に満席の会場は笑いと喝采に包まれました。

詳細のお問い合わせ
予約・資料のご請求

日本オペラ振興会チケットセンター ☎044-959-5067 オンライン予約 <http://www.jof.or.jp>